

●施策を構成する事務事業等の概要

① 事務事業等の名称		H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
公共施設予約システムの運用		事業費(千円)	8,104	6,203
		所要人員(人)	0.26	0.13
開始年度	平成 28 年 ~	総コスト(千円)	10,307	7,300
事業内容 (平成29年度の活動状況)	受益者負担の適正化の一環として行われた公の施設使用料の見直しに合わせて、利用者の利便性を向上させる観点から導入した公共施設予約システムを運用する。 現行システムの契約期間は、平成27年10月から平成32年9月までの5年間である。 【平成29年度利用実績】（総合体育館など体育施設の予約システム利用分について） 登録団体数：675団体（個人含む） 利用件数：14,635件			
【今後の方向性】 ⇒ 見直し				
理由等	公共施設予約システムの操作方法等に関する問合せや改善の要望が寄せられるなどの課題が発生していることから、更なる利便性の向上や、データ集計等を効率よく実施できるシステムへと改修するために、関係各課を交えて現在のシステムの診断及び評価を行うなど、次回の更新に向けて検討を進める必要がある。			
行政評価会議からの意見	現行システムには操作性や統計用データの抽出等に改善の余地があるため、次回の更新に向けて課題を精査し、改善に向けた検討を進める必要がある。 また、現行システムの導入による効果を把握するため、導入前後の利用状況を比較検証することが肝要である。	行政評価委員会からの意見	現行システムの導入から3年が経過し、操作性等の課題が浮き彫りとなっている現状を踏まえれば、今後、機能を改善していく必要がある。なお、改善に当たっては、合理的かつ効果的なシステム改修を行うことにより市民への説明責任を果たしていくことを求めたい。	
有☑ 無□		有☑ 無□		